高山町本町の八月踊

【所　在　地】肝属郡肝付町本町（八月踊保存会）
【種　　別】県指定無形民俗文化財
【指定年月日】昭和 37 年 10 月 24 日

毎年旧暦８月 18 日に行われる。夕方に男子青年だけで水神祭を行う。集落の水神祠に祭宿から供物をさげ，「水神旗」という五色の旗を立て，鉦や太鼓を鳴らしながら水神の前で輪になって踊る。いわゆる鉦踊りであるが，素朴さのなかにも祈りの心のこもった芸能である。

圧巻は夜，行われる八月踊である。夜食をすませて７時頃からぼつぼつ集まる。本町の道路中央に大きな櫓が組まれ，その上に唄い手，三味線，胡弓の楽人が乗り，歌いはじめる。それを囲んで道路いっぱいに踊りの輪をつくる。男性は紋付羽織に藺笠，女性は鳥追い笠にオコソ頭巾姿が多い。

踊りは「五尺」，「ひとつとの」，「おくめ口説」，「思案橋」などの近世歌謡にあわせて踊るが，歌がちがうごとに踊り方もちがい，全体に手振りが美しい優雅な踊りである。

大隅地方では肝属川およびその支流一帯の集落で八月踊が踊られている。昼間は水神に感謝する水神祭を行い，夜は広場で収穫を祝う八月踊を踊るのである。